

令和7年度 学校評価報告書

園名	ありまふじ幼稚園
----	----------

1 教育目標

“心の軸”と“体の軸”を
しなやかに育て、子どもの
「生きる力」の基礎を育成
する

2 重点目標

1. 園児と共によりよい教育・保育の環境を創造し、園児の主體的な遊びや生活を通して、生きる力の基礎を育成する。
2. 一人一人の成長発達を大切にし、園児が健康で生き生きと楽しく生活する園づくりに取り組む。
3. 地域に根差し、地域に開かれた教育・保育の充実を図る。
4. 保護者や地域の子育て力の向上を目指し、子育て支援の充実を図る。
5. 小学校との円滑な接続に向けた互恵性のある教育・保育の推進を図る。
6. 様々な人との関わりを通して豊かな感性を育む。

3 自己評価結果

分野領域	評価項目	幼稚園の取組状況・改善の方策
教育課程・指導	・「ときどき わくわく えがおがいっぱい！」の姿を支える。 ・保育者チームの援助・支援の工夫。	・園が大好きで、楽しく過ごせる環境を整え、幼児が安心・安定を土台として過ごすことができた。 ・個の成長段階を丁寧に捉え、教育・保育時間への移行等を職員で支えてきた。進級・就学へつないでいきたい。
運営・管理	・チーム保育を意識した計画的かつ見通しをもった園務の確立。	・各学年、教育課程に沿い、保育を進め、少人数保育(4,5歳異年齢)や3歳児保育においては、個から集団への環境等に視点を定め運営を行ってきた。
危機管理	・定期的な点検・訓練、防犯・防災訓練等、計画的で継続的な取り組みの推進。	・定期的に避難訓練を行うことはもとより、日常においても安全が保てるような状況を共有し、改善を繰り返しながら危機管理意識を高めてきた。
子育て支援	・親と子の育ちの場としての役割や機能の充実。	・6月開始の、毎週一回の未就園児交流広場「さくらんぼ」では、保護者同士の輪が広がり、未就園児達も安心して過ごす場となった。この活動を広く周知し、未就園児、保護者が集う場を充実させていきたい。
家庭・地域・学校との連携	・地域に根差し、開かれた教育・保育の充実、小学校との円滑な接続に向けた保育計画の推進。	・再編により、新しい環境の中での園生活が始まり、各地域・各小学校の思いを聞き取り、大切にしながら保育を進めてきた。 ・園児達が交流を重ねることで本園での取り組みを地域に伝える機会となり、成果も見られた。次年度に向け、保護者も含め、継続した活動、取り組みを工夫したい。

4 学校関係者評価

- ・自ら人や環境と関わり、自分たちで生活を進めようとする姿から主体性の育ちを感じた。
- ・身近な人に挨拶をするなど、社会で必要な習慣が身についている。このまま伸び伸びと育ってくれることを願う。
- ・幼児の姿を捉え、興味関心や意欲、挑戦しようとする力などを見極めながら環境を整えるなど、職員間のチーム保育を意識した取り組みが窺えた。
- ・職員間で情報を共有したり、専門知識の研修や訓練をするなど、危機管理意識を高めようとしている姿勢が窺えた。引き続き安全が保障されるような取り組みを期待する。
- ・未就園児交流広場「さくらんぼ」を通して、保護者同士が繋がり、安心して集える場になっていることが良かった。より充実させるために、まだ参加されていない地域の方への周知が必要だと感じた。
- ・幼児が主体的に行動し、笑顔で日々過ごすことができているのは保護者が園を信頼し安心感を持っているからだと感じた。
- ・地域や小学校との交流を計画的に実施し、どの地域とも連携を進めていることが素晴らしい。
- ・幼稚園、小学校、中学校の繋がりを意識し、継続してほしいと願う。

(別紙様式 2)

5 総合的な評価結果

4月、認定こども園として開園。職員一人一人が、幼児理解から始まり「どきどき わくわく えがおがいっぱい!」の子ども達の姿を支え、認めながら、よりよい園運営に務めてきた。幼児達は、日々、友達と共に「あそび」を通し様々な経験(時には葛藤など)を重ね、心強く、心身ともに成長してきている。次年度へ向けても職員一同、丁寧かつスムーズな連携のもと、保護者や地域の方との温かなつながりを継続させていきたい。

6 総合的な学校関係者評価

- あたたかい雰囲気の中で、幼児が人や環境と関わりながら伸び伸びと育っていることが保護者にも伝わり、大きな安心感や信頼にも繋がっている。
- 地域や小学校との計画的な交流により、様々な方法で幼児の成長を共有し、経験を蓄えることができているので、今後も繋がりを大切にした取り組みを継続してほしい。
- 安心、安定を土台とし幼児が笑顔で日々を過ごすために、3学年それぞれの育ちをしっかりと見極め、共有しながら保育に取り組む保育者チームがこのまま継続することを期待する。